

演習 I

科目ナンバリング SEM-301

必修 2単位

石川 義孝

1. 授業の概要(ねらい)

少子高齢化や人口減少によって地方の疲弊が進む一方、東京への一極集中も進行しています。人口は現代日本を読み解くキーワードになっており、全国・地域の人口動向への関心がこれまでにないほど高まっています。人口の動向や、その背景や影響について理解・考察を深めるとともに、独自の分析を行うことには大きな意味があります。

この授業では、地域人口論の観点から、人口の動向やその背景・影響等について、各種の文献(論文)を読みすすめることを通じて、受講生の理解を深めることに、重点をおきます。授業は、受講生各自が選んだ論文の紹介・論評を行うプレゼンテーションと、それを踏まえた討論という形式で進めます。

受講生の主体的な学びを促すために、授業中に、全国各地の人口関連の諸現象について、紹介を行います。

2. 授業の到達目標

- ① 全国・地域の人口動向とその背景について理解・考察する力を修得する。
- ② 自分の関心に合った文献・資料・統計などを検索するとともに、それらを適切に分析できる能力を修得する。
- ③ 説明資料の作成能力や、パワーポイントによるプレゼンテーションのスキルを高める。

3. 成績評価の方法および基準

プレゼンテーションの内容が30%、討論への参加状況が30%、リアクションペーパーなどの提出状況が40%、という割合で評価します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

佐々木信夫 『老いる東京』

(角川新書)

石川義孝編 『地図でみる日本の外国人 改訂版』 (ナカニシヤ出版)

井上孝編 『首都圏の高齢化』 (原書房)

増田寛也編 『地方消滅』 (中公新書)

5. 準備学修の内容

自分に割り当てられた発表については、十分な準備をして臨んでください。

6. その他履修上の注意事項

授業に欠席しないことは当然ですが、特に自分が発表者になっている場合には、無断欠席・遅刻は厳禁です。報告は各自が作成したパワーポイントのファイルに基づいて行っていただきますので、その作成法については、授業で簡単な説明を行います。

この演習の授業の受講生は、私が担当する「現代経済の課題AI」の授業(火曜日2限目)も受講していただくのが望ましいです。ただし、この授業を受講していなくても、この演習の授業は受講できます。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------------|
| 【第1回】 | <講義>授業の進め方 |
| 【第2回】 | <講義>文献の検索方法の解説と文献リストの提示 |
| 【第3回】 | <講義>国および地方自治体の統計データの所在 |
| 【第4回】 | <講義>Excelの利用法 |
| 【第5回】 | <講義>Powerpointファイルの作成・利用 |
| 【第6回】 | <受講生発表>選択した論文の紹介・論評と討論 |
| 【第7回】 | <受講生発表>選択した論文の紹介・論評と討論 |
| 【第8回】 | <受講生発表>選択した論文の紹介・論評と討論 |
| 【第9回】 | <受講生発表>選択した論文の紹介・論評と討論 |
| 【第10回】 | <受講生発表>選択した論文の紹介・論評と討論 |
| 【第11回】 | <受講生発表>選択した論文の紹介・論評と討論 |
| 【第12回】 | <受講生発表>選択した論文の紹介・論評と討論 |
| 【第13回】 | <講義>地方自治体の調査法 |
| 【第14回】 | <オンライン>地方自治体の調査結果の紹介 |
| 【第15回】 | <講義>夏休みの課題の説明 |